



お知らせ



3月のミサ
 10日 第2日曜日
 24日 第4日曜日
 31日 第5日曜日
 (31日は鶴岡教会でのミサ)

3/10 (日) 黙想会・ミサ・ゆるしの秘跡
 13:30~
 山内堅治神父様 (聖パウロ修道会) による司式
 ・黙想会 (13:30~14:20) 御聖堂
 ・記念写真・休憩 (14:20~14:30)
 ・ゆるしの秘跡 (14:30~15:20) 応接室
 ・ミサ (15:20~16:20) 御聖堂
 ・ゆるしの秘跡 (16:20~17:00) 応接室
 (ゆるしの秘跡が終わり次第終了します)
 神父様は市内で夕食をとられ鶴岡教会に宿泊されます

☆3/24 (日) 受難 (枝) の主日から聖週間です。

☆3/28 (木) 聖木曜日 (主の晩餐)
 鶴岡教会 19時
 ☆3/29 (金) 聖金曜日 (主の受難)
 大斎・小斎日
 鶴岡教会 15時
 ☆3/30 (土) 聖土曜日 (復活徹夜祭)
 鶴岡教会 19時

☆3/31 日復活のミサ鶴岡教会で行われます。
 参加希望者・鶴岡往復乗車希望者
 柿崎圭介さんまで申し出て下さい
 当日お祝いパーティーに参加される方は
 手土産を持参して下さい
 ☆能登半島地震の義援金
 5万円カリタスジャパンに送金します
 (信徒3万7千と教会1万3千円)
 ☆4/7 (日)
 復活のお祝いパーティー
 行事部担当で開催、
 参加者は別途募集します

『あなたは わたしの隠れ場
 苦しみから私を助け出し
 救いの喜びでおおって下さる』
 (詩篇 32-7)

3月スケジュール

3日 (日) 四旬節第3主日
 十字架の道行
 みことばの祭儀
 御聖堂清掃

10日 (日) 四旬節第4主日
 ミサ・黙想会 13:30~

17日 (日) 四旬節第5主日
 十字架の道行
 みことばの祭儀

聖週間

24日 (日) 受難 (枝) の主日
 ミサ
 話し合い

28 (木) 聖木曜日 (主の晩餐)
 29 (金) 聖金曜日 (主の受難)
 大斎・小斎日

30 (土) 聖土曜日 (復活徹夜祭)

31日 (日) 復活の主日
 鶴岡教会 ミサ 9:00a.m.

*十字架の道行 11:15a.m.
 *ミサ・みことばの祭儀 11:30a.m.



3月朗読当番

3日 四旬節 第3	祭壇奉仕	西村浩太郎	24日 受難 (枝) 主日	先唱	柿崎圭介
	第1朗読	折坂志津枝		第1朗読	今野幸子
10日 四旬節 第4	第2朗読	高橋泉	31日 復活の 主日	第2朗読	高橋泉
	先唱	荻原徹		受難の朗読	当日依頼
17日 四旬節 第5	第1朗読	今野幸子		鶴岡教会 9時から	
	第2朗読	ヤグナ		酒田では行われません	
	祭壇奉仕	西村浩太郎			
	第1朗読	齋藤純子			
	第2朗読	佐藤浩子			



幸せに生きるために

人生において大切なのは試練ではなく、その試練にどう対処するかです。ある心理学者は『困難と病気と危険を冒してなお生きる』という本を書きました。その本の中で著者は次の点を強調するのです。

Make happiness a habit. 幸せに生きる習慣をつけること
幸福な人は日常の悲しみと喜びと期待はずれを素直に受けるのです。そして小さな喜びをも大事にします。むしろ苦しみを静かに耐えるのは容易かもしれません。喜ぶことこそとても難しいのです。なぜなら誰も幸福な状態に生まれてきませんし、各自が自分の幸福を培わなくてはまらないのです。

Accept change. 変化を甘んじて受けること
人生は変化と問題に満ちています。その変化から学びたいのです。そうしたら、不思議なことに素晴らしい結果が生まれてくるのがよくあるのです。

Don't give up. あきらめないこと
苦しい状態に置かれているにもかかわらず、やるべき事をきちんとやるのです。失敗したと思う代わりに、この次は何の手を打とうかと考えなさい。

Reach out to others. 人を助けて、手伝うこと。
逆境に処する一番いい方法は、困っている人に心を向けることです。

Live in the present. 今を生きること
私たちは過去を取り戻し未来を形作ることはできません。今日だけが私たちの宝です。そしてそれも矢のごとき飛び去り、永久にもどりません。

Don't be afraid to dream. 遠慮を捨てて、夢を見ること
やはり、人はせつせと仕事と勉強をするとき。退屈しません。もし目的があれば、またその仕事を喜んでするなら・・・・・・。
海を航海するとき、救命具が必要となるように、人生の旅路においても、生きがいをもたらす欠くことの出来ないものがあるのです。読書、音楽、信念、夢、熱意などです。
ある詩人は「私は夢なくして歩いてみたそしてつまずいて転んだ」と訴えています。

(ドン・ボスコ社 ステファノ・デランジェラ
落ち葉「いい人生というために」より)

